

(委託仕様書の別紙)

IoT リーダー塾のカリキュラム (令和5年4月5日現在)

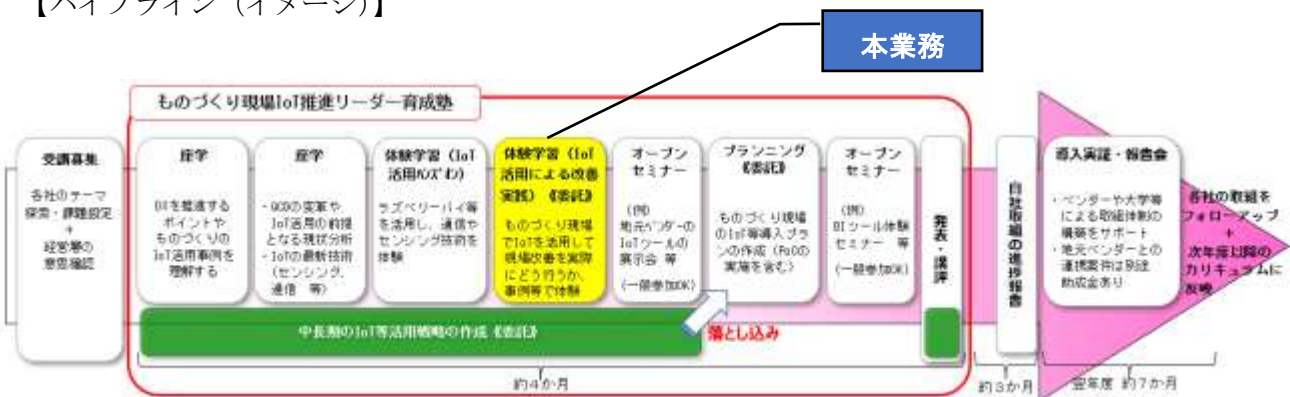
1 IoT リーダー塾のパイプライン

次のすべての条件を満たすものづくり中小企業の、現場と経営層への情報伝達ができ、将来的なDX推進のコアとなる人材の育成「IoT リーダーの育成」(次図の赤枠内上段)と、「経営層がコミットする中長期のIoT等活用戦略の作成」(次図の赤枠内下段)を並行して行う。

【条件】

- ・経営層自らが取組に積極的に関与・判断できる
- ・工場の生産ライン管理、設備の故障予測、作業効率化など、企業規模にあった課題設定ができ、IoT等のデジタル技術の導入に適切な推進体制の構築ができる
- ・モデル企業として、開示可能な範囲で、プロセス及び成果の地域展開へ協力できる

【パイプライン (イメージ)】



2 IoT リーダーの育成 (上図の赤枠内上段) のカリキュラム

- 受講定員：概ね10人・社
- 講座期間：8月下旬～12月中旬 (約4か月間)、概ね1回/週開催
- 講座概要：

時期	分類		時間 (※1)	概要・目的
8月	基礎知識習得	座学 (IoT基礎)	4時間程度	IoTの概論や今後のビジネス活用についての基礎知識を学ぶ。【開講初日の講座は、経営層と一緒に受講する。】
		座学 (IoT技術)	4時間程度	IoTシステムのアーキテクチャーや構成要素 (センサー、ネットワーク、クラウド等) を学習する。
9月	体験学習	座学 (現場改善手法)	12時間程度	製造現場プロセスの分析方法の基礎を理解し、人の作業性や、工程内の効率性についてIEの観点で改善の手法を理解する。(演習あり)
		IoT活用ハンズオン	4時間程度	センサー、ゲートウェイからクラウドにデータをアップする体験を通じて、IoTを支える汎用的な技術を学習する。
		本業務 IoT活用による改善実践	6時間程度	IoTシステムを活用した現場改善の流れを実際にどう行うかを、模型やケーススタディを通じて理解する。

(講座概要の続き)

時期	分類		講座時間 (※1)	講座概要・目的
10 月	オープンセミナー (IoT ツールの展示会 等)		3 時間程度	IoT 導入の具体的なイメージに役立つ IoT ツール展示会等を、県内企業のニーズを踏まえて実施。(IoT 塾の受講者以外のオープン参加可。)
	IoT 等導入プランの作成	自社課題分析 (※2)	4 時間程度	ワークショップを通じて、自社業務における課題を優先度や影響度から洗い出し、整理する。
		課題解決実行計画	4 時間程度	PoC の実施を踏まえて、課題解決に向けて必要となるシステムや体制、スケジュール等、具体的な計画を立てる。
		メンタリング期間 (※3)	2 時間程度 × 概ね 10 社	最終発表に向けての個別相談を実施。
11 月	オープンセミナー (BI ツール体験セミナー 等)		4 時間程度	IoT に係るツール・技術の情報収集を支援するため、BI ツールの体験セミナー等、県内企業のニーズを踏まえて実施。(IoT 塾の受講者以外のオープン参加可。)
12 月	成果発表会		4 時間程度	各社の IoT 導入プランの発表と知見の共有を経営層の前で行う。また、講師のフィードバックも受ける。

- ※1 講座時間は、受講者が享受する時間数をさす。このため、講座の実施運営者サイドから見た講座時間は、受講者 10 人に一括で実施する場合と、2 グループに分けて実施する場合等で異なる。
- ※2 別の委託契約で作成した経営層の IoT 等活用戦略を、経営層から IoT リーダーに、事前に共有した上で取り組む。
- ※3 1 時間程度／回の個別面談形式で、2 回実施する。